

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（令和2年度）

基金の名称	畜産経営維持緊急支援資金融通事業基金
法人名	一般社団法人畜産生産者団体協議会
基金額（機構補助金等相当額）	2,939百万円（2,939百万円）（令和2年4月1日現在）
基金事業の概要及び目標	負債の償還が困難な大家畜及び養豚経営に対して借入金の一括借換えに要する資金を融通する融資機関に対し、利子補給等を実施し、経営の改善と国内畜産基盤の維持・発展に資する。
基金事業を終了する時期	利子補給金の交付が終了する令和18年度に畜産経営維持緊急支援資金融通事業を終了予定。基金は令和19年3月までに廃止の予定。 （ただし、償還猶予等の特例措置により資金の償還期限が1年延長された場合は、事業終了年度も1年延長）
給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制	畜産経営維持緊急支援資金融通事業実施要綱及び同実施要領に基づき申請を受け付け、審査等を行う。

2. 見直し結果（令和2年度）

項目	講ずる措置		
実施した見直しの概要	基準に適合するよう事業を実施		
基金事業実施時期	資金の貸付は平成22年度まで（利子補給は令和18年度まで）		
収入・支出等 （令和元年度実績）	①期首残高	3,242百万円	
	②収入	運用収入	5百万円
		返還金収入	0百万円
		合計	6百万円
	③支出	利子補給金	216百万円
		保証円滑化交付金	81百万円
		管理費等	6百万円
運用益返還		6百万円	
合計		308百万円	
④期末残高（①+②-③）	2,939百万円		

<p>交付決定等実績 (令和元年度実績)</p>	<p>交付決定等件数 利子補給事業 793件、保証円滑化事業 17件 交付決定額 利子補給事業 216百万円、保証円滑化事業 81百万円</p>	
<p>基金の保有割合</p>	<p>算出した保有割合は1.0であった。算出に用いた方式及び数値については以下のとおりである。</p> <p>(算出に用いた方式) 保有割合 = (直近年度末基金残高 - 機構への返還額) ÷ (事業完了までに必要な利子補給額必要額 + 円滑化交付金必要額 + 管理費必要額) = (2,939百万円 - 5百万円) ÷ (1,468百万円 + 1,214百万円 + 102百万円)</p> <p>(算出に用いた数値) 令和元年度末基金残高 : 2,939 百万円 機構への返還額 : 令和元年度運用収入 5 百万円 令和2～18年度に必要となる利子補給額 : 1,468 百万円 令和2～18年度に必要となる円滑化交付金 : 1,214 百万円 令和2～18年度に必要となる管理費 : 102 百万円</p>	
<p>基金の保有割合の算出</p>	<p>使用見込みの低い基金等の該当の有無</p> <p style="text-align: right;">有</p> <p>基準6(1)の①に該当</p> <p>(使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果) 資金の新規貸付は平成22年度で終了しているが、令和18年度まで利子補給事業及び保証円滑化事業は継続。加えて、非常事態発生に伴う償還期限の延長による利子補給額の増額にも備える必要がある。 このため、基金の効率的な運用を図るための運用を行い、その収入を国庫返納する。 (令和2年度は、令和元年度運用収入5百万円を返納)</p>	
<p>使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果</p>	<p>その他</p>	